

事業者向け 令和2年度 放課後等デイサービス自己評価表

にこにこキッズルーム

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|----|--|----|---------------|-----|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 法定基準より広いスペースを確保している。 (基準40㎡:当事業所80㎡) |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 法定基準を大きく上回り配置している。 (利用者10名にスタッフ7～8名) |
| | 3 | 子どもの失踪や部外者の勝手な侵入が生じないような対策をとっているか | ○ | | | 出入口は暗証番号式の3重ロックで施錠し、監視モニターを配備している。 |
| | 4 | 子どもにとって危険が生じないように、設備や備品等に破損や故障がないか | | ○ | | おもちゃの破損確認や更新が不十分であるため、定期的な確認を行う必要がある。 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、改善につなげているか | ○ | | | この評価表の活用他、適宜保護者ニーズを把握するためのアンケートを実施していきたい。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | 会報は公開先が限定されるため、閲覧制限のないホームページで情報公開している。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | ○ | | 次年度は第三者評価を受審し、業務改善につなげたい |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 各種研修に積極的に参加している。オンライン研修も活用し、日時に制限なく参加できた。 |
| | 9 | 日々のアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか | ○ | | | 日々の個人記録や個別ミーティングを丁寧に行っている。コロナ禍でモニタリングの日時や方法を一部変更しながら実施した。 |
| | 10 | 保護者と半年に1回以上は面談し、個別支援計画を半年に1回は見直し・作成しているか | ○ | | | コロナ感染症対応として、面談方法を工夫し実施。担当者会議も丁寧に行うことができた。 |
| | 11 | 基礎となる活動プログラムの立案(行事や月間予定など)をチームで行っているか | ○ | | | 事業所会議等で定期的に行っている |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | | ○ | | コロナ感染症対応により活動制限が生じプログラムが固定化しやすいが、安全を最優先して活動したい。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、活動内容を工夫して提供しているか | ○ | | | コロナ感染症対策に留意しながら、時間に応じた活動内容を提供し、満足していただくプログラム提供を心がけた。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて活動を提供しているか | ○ | | | コロナ感染症対策として、少人数活動を心がけたため、5人以上の集団活動を避けた。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 支援開始前はプログラム説明が主となるが、利用児童の申し送りに時間をかけられると良い。 |

| | | | | | | |
|------------------|----|--|---|---|--|---|
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | 毎日時間をかけて丁寧に実施していることが、安全確保や支援の共有化に繋がっている。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 日々の記録を基に、支援や個別支援計画への反映に役立っているが、時間を要しすぎかもしれない。 |
| | 18 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか | ○ | | | コロナ感染症対策として、活動の制限が生じてしまったため、従来の活動ができなかった。 |
| 関係機関や保護者との連携や説明等 | 19 | 必要時、障害児相談支援事業所の担当者と連携(担当者会議や相談等)しているか | ○ | | | コロナ禍のため電話・文書での連携が中心となった。 |
| | 20 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ | | | 学校からの連絡調整の機会が少ないため、保護者様に協力を依頼し、情報共有している。 |
| | 21 | 学校行事の見学等、学校での子どもの様子を把握するよう努めているか | ○ | | | コロナ感染症対応として、今年度は公開されることがなく残念であった。機会があれば積極的に参加したい。 |
| | 22 | 学校入学前や卒業後の諸機関と、必要に応じて連絡をとりあっているか | | ○ | | 次年度以降は、就労先との情報共有を体系化し、実施する。 |
| | 23 | 障害のある子どもの放課後活動に関する連絡会への参加や地域の事業所との会議に出席して、情報共有に努めているか | ○ | | | 地域作業所連絡会、児童部会、放課後連への参加をしている。コロナ感染症対策として、オンライン開催が多かったが参加することができた。 |
| | 24 | 地域の方との交流や外出活動などを通して、障害のない子どもと活動する機会があるか | | ○ | | ・公園遊びの時、地域のお子さんと遊具の貸し借りの機会がある ・コロナ禍で、これまで機会のあった学童との交流、児童館へのお出かけがなくなった ・あらたまった機会はない。必要性があるのか疑問に感じる |
| | 25 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 面談の機会が減ったため、メールや送迎時を利用して伝えている。 |
| | 26 | 入会時や変更時、運営規程、活動の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | コロナ感染症関連については、できるだけ丁寧・かつ迅速に説明するよう心がけた。 |
| | 27 | 保護者からの相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 担当者制を生かせるとよい。 |
| | 28 | 地域行事への参加を通じ、また保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | ○ | | コロナ禍でふくしまつりや保護者会が中止となり、連携の機会をもてなかった。 |
| | 29 | 苦情があった場合に、懇切に迅速かつ丁寧に対応し、改善策を速やかに伝えているか | ○ | | | 今後も迅速かつ丁寧に対応したい。 |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|--|---|---|
| | 30 | 定期的に会報の発行やホームページにて、活動の様子や情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | にこにこ通信の発行やブログなど、コロナ禍で利用自粛が続いた際にも発信を心がけた。 |
| | 31 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | 連絡帳の入れ間違いなどが何回もあり、個人情報の取り扱いに留意したい。 |
| | 32 | 地域行事への参加や事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | コロナ禍で未開催のものもあったが、ハロウィンなどで地域とのつながりを持つ機会をつくった。 |
| 非常時等の対応 | 33 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | 対応マニュアルの中で、保護者向けの内容を抜粋し、適宜周知している。 |
| | 34 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 月に1回以上の避難訓練(地震編・火災編)を実施。コロナ禍により引き取り訓練は見合わせ、保護者様各自で確認をお願いした。次年度は実施したい。 |
| | 35 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | 法人研修、事業所内研修、東京都主催研修など、事例検討を入れながら、研修機会を多く持つことができた。 |
| | 36 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | エビペン研修なども実施。支援者が変わっても、万が一の際に対応ができるよう継続研修する。 |
| | 37 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | できるだけ共有する機会をもつよう心掛けた。前期、後期でヒヤリハット事例の傾向をまとめるなど、丁寧に分析した。 |